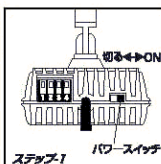


フットブレーキ検出方式への変更

L端子検出方式への変更

ステップ1 アンテナユニットの パワースイッチを切り めます。

すでに付属の安全センサーケー
ブルがエンジンスタート本体
に接続されている場合は、一旦外
してから作業を行って下さい。

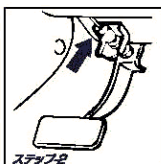


ステップ1

ステップ2 車のフットブレーキ スイッチを探します。

フットブレーキスイッチはブレー
キペダルの板元付近にあります。

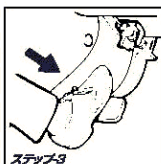
メモ フットブレーキとは、フ
ットパーキングブレーキ
のことではありません。



ステップ2

ステップ3 ブレーキペダルを踏 んだとき12Vになる 線を見つけます。

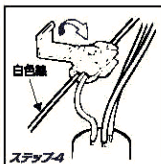
フットブレーキスイッチから出
ている線の内、ブレーキペダルを踏
まないときは0V、踏んだときに
12Vになる線を見つけて下さい。
(必ずテスターをご使用下さい。)



ステップ3

ステップ4 安全センサーケー ブルの白色線を接続し ます。

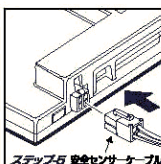
安全センサーケーブルの白色線を、
ステップ3で見つけた線に接続し
ます。(付属のエレクトロタップ
使用。)



ステップ4

注意 接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。
フットブレーキ検出がうまく行わない場合があります。
なる、エレクトロタップ部は、防水のためテーピングし
て下さい。

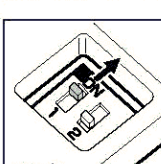
ステップ5 安全センサーケー ブルをエンジンスタ ーター本体のコネク ター部 (CN2) に接続 します。



ステップ5 安全センサーケーブル

ステップ6 エンジンスタート 本体のモードスイ ッチの1番をONにし ます。

スイッチが小さいため、ボールペ
ンの先端等で行って下さい。



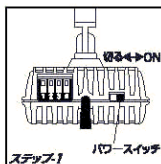
ステップ6

以上でフットブレーキ配線は終了です。

アンテナユニットのパワースイッチをONにしてリモコンでエ
ンジンを開始させ、フットブレーキを踏んだときにエンジン
が停止することを確認して下さい。

ステップ1 アンテナユニットのパワ ースイッチを切りま す。

すでに付属の安全センサーケー
ブルがエンジンスタート本体に接
続されている場合は、一旦外し
てから作業を行って下さい。



ステップ1

ステップ2 車のオルタネーターか ら出ているL端子線 を探します。

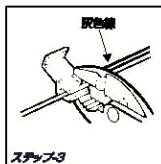
L端子線とは、イグニッションON
の位置でエンジンが停止してい
るとき、約1~3V、エンジンが駆
動しているとき、約12~14Vに
なる線です。(必ずテスターをご使
用下さい。)



ステップ2

ステップ3 安全センサーケー ブルの灰色線を接続 します。

安全センサーケーブルの灰色線を
グロメット等を利用して、車室内
からエンジンルーム内に引き込み、
オルタネーターから出ているL端
子線に接続します。(付属のエ
レクトロタップ使用。)



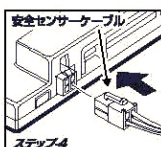
ステップ3



警告

接触不良が起きないように確実に取り付けて
下さい。なお、エレクトロタップは防水
のためテーピングして下さい。灰色線が車
体の金属部分に触れると、ショートを起こ
し車両故障の原因となる恐れがあります。

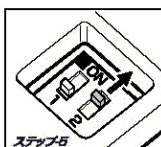
ステップ4 安全センサーケー ブルをエンジンスタ ーター本体のコネク ター部 (CN2) に接続 します。



ステップ4

ステップ5 エンジンスタート 本体のモードスイ ッチの2番をONにし ます。

スイッチが小さいため、ボールペ
ンの先端等で行って下さい。



ステップ5

以上でL端子配線は終了です。

アンテナユニットのパワースイッチをONにしてリモコンで同
様にエンジン始動出来ることを確認して下さい。